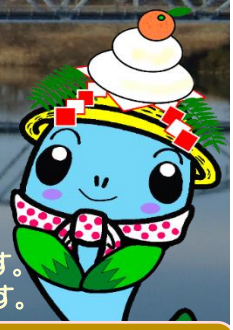
仙台南部流域治水出張所だより～♪

あぶたん つうしん

発　行　：　国土交通省　東北地方整備局　仙台河川国道事務所　仙台南部流域治水出張所
〒989-2441　岩沼市館下1丁目2番9号　☎0223-22-2801 FAX:0223-22-2802
発行日　：　令和7年12月25日

262 GO!



新しい１年、笑顔あふれる１年になりますように。
仙台南部流域治水出張所職員一同、阿武隈川下流域の安全安心と皆さまの幸せを心よりお祈り申し上げます。
２０２６年もどうぞよろしくお願いいたします。

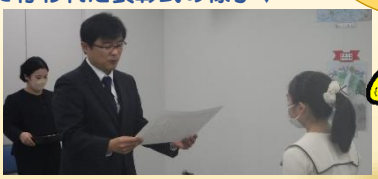
令和7年度『川をきれいにする児童図画・ポスター』結果発表

たくさんのご応募ありがとうございました！

阿武隈川水系水質汚濁対策連絡協議会下流支局では、沿川市町の小学校児童のみなさんに図画等の作成をとおして川との関わりや思いを深めてもらい、水環境の大切さについて理解していただく事を目的とした『川をきれいにする児童図画・ポスター』を平成２年度から募集しています。36年目となる今年は１６９点の応募作品の中から２０名の入選者が選ばれ、各部門（図画部門/ポスター部門）上位３名の計６名が12月１日に表彰されました。

↓1仙台河川国道事務所で行われた表彰式の様子↓







■入選者作品巡回展示予定（阿武隈川水系）

亘理町	※亘理町役場　庁舎	R7.12.26～R8. 1.9
丸森町	※丸森町役場　庁舎	R8. 1. 13～1.16
大河原町	※大河原町役場　庁舎	R8. 1. 23～1.30午前※
柴田町	柴田町まちづくり推進センター	R8. 1. 30午後～2. 6午前※
角田市	※角田市役所　庁舎	R8. 2.　6午後～2.13午前※
七ヶ宿町	※七ヶ宿町役場　庁舎	R8. 2. 13午後～2.20午前※
村田町	村田町民体育館	R8. 2. 20午後～2.27※

！注意⇒ ※土日祝は除く　※設営・撤去作業中の時間帯があります

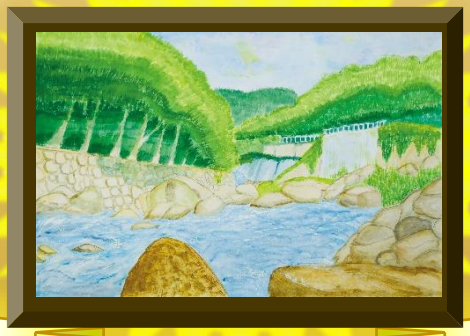
★白石市・岩沼市・蔵王町の巡回展は12/25までに終了しました

入選者全員の作品紹介はあぶたんをクリック♪

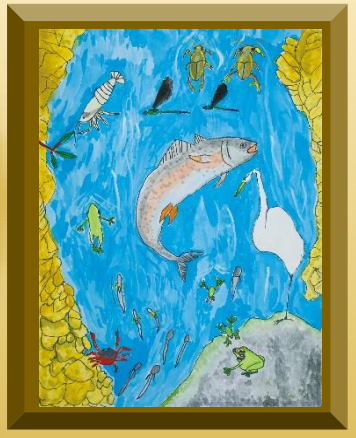
阿武隈川水系　図画部門



七ヶ宿ダム管理所長賞　角田市立金津小学校　5年　半田　るか　さん



特選　岩沼市立岩沼小学校　3年　名取　美空　さん



仙台河川国道事務所長賞　岩沼市立岩沼西小学校　3年　辻　青悟　さん

阿武隈川水系　ポスター部門



七ヶ宿ダム管理所長賞　柴田町立船迫小学校　4年　佐藤　華音　さん



特選　角田市立角田小学校　6年　松田　陽愛　さん



仙台河川国道事務所長賞　柴田町立東船岡小学校　6年　森　妃花　さん

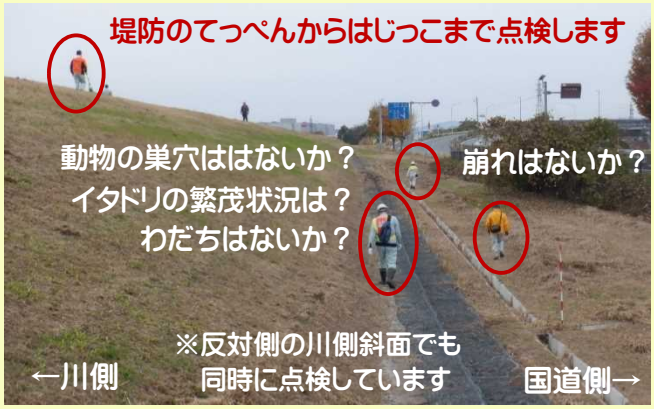
出水期（大雨で川の水位が上昇しやすい期間。阿武隈川は6/1～10/31）終了後、初めての合同点検。
川を流れる水の力は大きく、出水期の水流が堤防や河川管理施設に与えるダメージは大。

出水期が終わるとすぐ、河川堤防や施設に損傷がないかを点検するっちゃ。
補修が必要な箇所は、川の流量が少ない冬の間に対策を進めるっちゃよ～



堤防モニタリング
11月11日～12月2日（4日間）

阿武隈川下流域の堤防30.4km（右岸13.6km＋左岸16.8km）の堤防を4日間かけて徒歩で点検します。
10人ほどの人数で、横に大きく広がって歩きます。



堤防のてっぺん（堤防道路）では、以前から経過観察中の亀裂が広がっていないか・深くなっていないかを計って確認しています。



異常ナシ

樋門・樋管合同点検
11月13日

樋門・樋管とは、大雨で洪水になった時に、本川から住宅地側への逆流を防ぐための施設です。

年間をとおして規定の時期に水門等水位観測員さんが点検を行っていますが、加えて国土交通省職員との合同点検も年3回実施しています（所管内全6箇所）。

実際にゲートを動かして点検します



異常ナシ

令和7年の出水期、大雨で水位が上昇することはあったものの、災害につながることなく乗り切れたっちゃ。
今回の点検でも、ただちに補修の必要な異常箇所は見つからなかったっちゃ。
でも油断は禁物！今後は通常の巡視を続け、出水期前に改めてまた合同点検を行うっちゃ！



阿武隈川の行く先は 太平洋

湖や沼に流れる川もあるけどね
そう、川と海はつながっているのです…！

12月1日午後、宮城県南部（名取市以南）で国の工事を請け負う業者さん向けの安全講習会が開かれました。
講習会では実際に施工中の現場を訪れ、良かった点や改善点を洗い出し、ディスカッションをしました。
今回の講習現場は、山元町の海岸工事。河川や道路の工事とはまた違った、海岸ならではの難しさと工夫のある現場です。
良い点は是非持ち帰って自社の施工現場に活かしていただき、より安全な作業環境を官民で目指します。



阿武隈川ホッとニュース♪

海と川のマリアージュ 荒 浜 産 海苔

海苔の養殖は、淡水と海水が混ざり合う汽水域が最適です。阿武隈川より流れ込む淡水は、上流から太平洋に注ぐ過程で森林や土壌由来のミネラル分を豊富に含んでおり、このミネラル分が海苔の生育に必要な栄養素となっています。
収穫期は12月～4月頃です。